

X. 入学後履修する外国語の選択について

本学では卒業要件の必修外国語として1年次前期に、英語・中国語・韓国語の中から1つの外国語を選択しなければなりません。

入学後の在籍期間中は、外国語の選択変更は原則的に認められませんので慎重に考えてください。

各外国語の内容は以下の通りです。内容をよく確認のうえ、必ず1つ選択してください。

1. 英語

これまで学んだ英語を前提に、本学では会話主体の講義を行います。本学専任教員と外国人を中心とした講師によるバイリンガル教育で徹底的に語学力の向上をはかります。英語での日常会話の聴力と会話力を身に付けることを目標とします。

1年次後期以降も英語の選択科目が開講されていますので続けて学修することが可能ですが、履修するための諸条件があります。さらに、TOEICテスト等で一定のレベルに達した場合、本学の協定校であるカナダのレスブリッジ大学への学生交換留学プログラムの選抜の対象者になることができます。

2. 中国語

本学専任教員と外国人講師による徹底的な語学教育を行い、中国語での日常会話の聴力と会話力を身に付けることを目標とします。

中国語を履修している学生から40名を選抜し、本学の協定校（山東大学（威海）、煙台大学）において語学留学を実施します。選抜された学生は、1年次後期の9月～翌年1月の約5か月間、協定校で実施する語学プログラムを通じて国際的な視野と語学力を身に付けます。この海外語学留学は正規の授業として実施されるため、授業料・寮費・水道光熱費の費用はかかりません。ただし、渡航費・保険費用・生活費（食事代等）は自己負担となります。

3. 韓国語

本学専任教員と外国人講師による徹底的な語学教育を行い、韓国語での日常会話の聴力と会話力を身に付けることを目標とします。

韓国語を履修している学生から10名を選抜し、本学の協定校（大田大学校）において語学留学を実施します。選抜された学生は、1年次後期の9月～翌年1月の約5か月間、協定校で実施する語学プログラムを通じて国際的な視野と語学力を身に付けます。この海外語学留学は正規の授業として実施されるため、授業料・寮費・水道光熱費の費用はかかりません。ただし、渡航費・保険費用・生活費（食事代等）は自己負担となります。

なお、韓国語履修に際しプレイメントテストを実施し、テストの結果によって「初級」「中級」「上級」のレベル別にクラス分けをする場合があります。

※この内容は2026年（令和8年）7月現在の情報です。詳しくは入学後の新入生オリエンテーションで説明します。